

2025年7月25日



## 脱炭素×キャンピングカー

# 未来のくらしに優しい、移動できる安心空間

私たちは、キャンピングカーを「楽しむための車」だけでなく、環境にもやさしく  
もしもの時は安心して過ごせる「移動できる避難場所」

としての活用も考えています。

その取り組みのひとつとして、積雪地域でも使えるソーラーカーポート  
や蓄電池の導入を行い、活用しています。

環境省のホームページ（HP）にも【優良事例】として掲載されました。

### 寒冷（積雪）地域における小規模なソーラーカーポート&蓄電池の設備導入事業



| 事業概要    |   | 導入設備、事業の効果             |  |
|---------|---|------------------------|--|
| 事業者     | 株式会社キヤナギ重機  | 発電容量                   | 太陽光パネル出力 12kW<br>パワコン出力 10kW 蓄電池容量 13kWh |
| 所在地     | 岩手県北上市鬼柳町宿77番地3   | 設置タイプ                  | 一体型（駐車場4台分）+蓄電池                          |
| 施設名(用途) | 株式会社キヤナギ重機駐車場   | 電力使途                   | 株式会社キヤナギ重機にて自家消費、余剰分はEVへの充電              |
| 本事業の特徴等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社キヤナギ重機の事業所駐車場にソーラーカーポートを設置し、発電した電気で事業所内の電力を賄うとともに、余剰分を貯めた蓄電池の電気を夜間や発電の少ない時間帯に使用することによりピークシフトを行い、CO<sub>2</sub>排出削減に努める。</li> <li>更なる余剰分はEV（電気自動車）へ充電することにより、環境への負荷を減らす。</li> <li>災害時には事業所への給電の他、地域住民の避難場所として携帯電話や小型家電の非常用電源として活用する。</li> </ul> | 事業費                    | 総事業費：655万円<br>（うち補助額：197万円 補助率：1/3）      |
|         |   | 運転開始                   | 2023年1月                                  |
|         |   | 再エネ比率*                 | 事業実施前：0%      事業実施後：90%                  |
|         |   | CO <sub>2</sub> 削減効果   | 6t-CO <sub>2</sub> /年                    |
|         |   | 施設のCO <sub>2</sub> 削減率 | 非公表                                      |

備考）※再エネ比率：2022年1月～12月の発電量を基に、積雪期間2カ月を想定して算出

#### 取組のきっかけ、課題/工夫点等

- ソーラーカーポート事業に取り組むきっかけ：**  
SDGsが叫ばれる昨今、弊社のような小規模な事業所が取り組めるものは何かと考えた時、まずグリーンエネルギーが思い浮かんだ。既存屋根へのパネル設置は建物の老朽化により難しいことから、事業場駐車場へのソーラーカーポート新設を考えた。
- 課題と工夫点：**  
将来的に近隣への建物新設により日陰になる恐れのない場所へ設置した。また、積雪地域であることから、太くて頑丈な柱を採用した。
- 事業者の声：**  
野立てや屋根上のパネル設置と違い、外観を損なわずに発電とカーポート両方の機能を満たすため街に馴染み、駐車場（土地）の有効活用が可能である。将来EV化が進んだ際、従業員が就業中に充電できるといった効果も期待できる。

#### 完成写真



写真：ソーラーカーポート設置場所

出典：株式会社キヤナギ重機提供資料より



もしもの時は安心して過ごせる  
「移動できる避難所」としてご活用いただけます。